

＜太白区中央市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

当館では上記の取組みについて、地域の親父の会と各小中学校のコーディネートをしていただきました。

長町地域と富沢地域の親父の会が企画・運営した「スポーツ交流会」において、市民センターと親父の会が協力して、地域の小中学校へ大会チラシの配布や募集の取りまとめ、大会参加へのお声かけ等のご協力の依頼を働きかけました。

スポーツ交流会では、地域内の交流はもちろん、幅広い世代間や地域を越えた方々が交流でき、大盛況に終わることができました。

企画運営にあたった、それぞれの親父の会同士、親父の会と小中学校の交流を通して、今後の活動の幅がより広がっていくようなネットワークづくりができたようでした。



〈生出市民センター〉の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

第36回生出コミュニティまつり

10月25日（日）に第36回生出コミュニティまつりを開催しました。強風に見舞われましたが、晴天に恵まれたおかげで来場者は延べ1760人、舞台発表や展示、各種出店のほか、生出地域の方々協力し合い、地域全体で盛り上げたコミュニティまつりとなりました。

〈舞台発表〉

生出小学校児童による合唱とよさこい節、生出中学校吹奏楽部の演奏やオカリナ、大正琴の演奏、カントリーラインダンスなど様々な団体・サークルの皆さまに出演していただきました。今年は特別出演の安来節保存会仙台支部による「どじょうすくい踊り」もあり、会場を大いに盛り上げていただきました。恒例のすずめ踊り生出組による素敵なすずめ踊りの披露もありました。

〈おまつり広場〉

野菜販売や秋田名物ババヘラアイス、お茶の詰め放題、うどんややきとりの模擬店、PTAによる射的コーナー、生出今昔すごろくコーナー、はりがね細工、竹細工の実演販売など大変賑わいました。特にババヘラアイスは昨年引き続き大人気。射的に何回も挑戦する子どもの姿もありました。

〈展示〉

今年も力作揃いの作品が並びました。絵画、生花、ちぎり絵、パンフラワー、切り絵などどれも丁寧に作られ、日頃の努力の成果をうかがえる作品ばかりでした。また、生花サークルによる生花体験教室、切り絵体験コーナー、生出パソコンくらぶによる喫茶コーナーも設けられ、見るだけではない体験する展示になりました。



上：舞台発表でのすずめ踊り
右上：展示のようす
右：おまつり広場の模擬店

＜中田市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

「伝えよう！伝統の仙台七夕」は中田地区の七夕行事の再生と地域一体化を目的に企画され、今年度で2年目を迎えました。これまでは市民センターと近隣の教育施設など（中田小学校、中田中学校、中田保育所、バンビの森保育園、中田児童館、放課後子ども教室スマイルクラブなかだ）の協力による七夕飾りの作成、掲示を中心に行ってきました。

しかし今年度は中田中学校の生徒が、商店街の七夕飾り作りを長年続けている中田商工振興会婦人部の皆さんを直接お手伝いし、地域活動に深く関わることができました。婦人部の方々の「若い人たちに手伝って欲しい」、中学生の「地域の活動を手伝いたい」というそれぞれの思いを市民センターが汲み上げ、今回の活動の広がりへとつなげることができました。直接関わりを持ちお互いの顔が見える関係を築くことが、今後の活動の活性化への足掛かりになることを、身をもって感じることができました。

来年度は、各団体同士のつながりをさらに深め、今まで以上に顔が見える関係を築いていけるよう、市民センターの役割をしっかりと果たしていければと考えています。



＜西多賀市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組をご紹介します。

当館では、毎年「中学生職場体験」の生徒を受け入れ、職業観や市民センターの地域での役割などを学ぶ機会を提供しています。今年は西多賀中学校の生徒5名を受け入れ、講座企画演習で「地域交流」をテーマに、「三神峯公園クリーンウォーキング&交流会」を企画し中学生80名、地域住民と教職員20名の参加で実施しました。地域の歴史的財産である「三神峯公園」の清掃活動を行い歴史について学び、昼食を食べながら地域の方との交流も図ることができました。

今回の企画で地域の「三神峯公園愛護協会」「西多賀検定委員会」「西多賀東・北町内会さくらクラブ」の皆さん、参加した地域の皆さんに協力していただいていたことができたことは、企画、実施した中学生にとって大きな自信となりました。また、参加した中学生にとっても清掃活動や地域の歴史を学ぶことで、地域を大切にする心や人のかかわりを大切にする気持ちが再認識するとともに、地域活性化の一助となりました。



リーダーを中心に企画を練りました



協力しながら清掃活動 落ち葉が沢山です



「西多賀検定委員会」の方より、「三神峯公園」の歴史について講話していただきました。



昼食（豚汁）を食べながら交流を図りました。話は尽きません

＜八本松市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

●「あすと長町・八本松・郡山散策」

地域には重要な歴史遺産があり、参加者が居住している地区を散策しながら、地元の歴史等に興味・関心を高められるよう講座を開催しました。

この講座を通して、講師に迎えた歴史情報の研究とブログ等での情報発信をしている地域のサークル「八本松郡山地域研究会」の皆さんの活動の場も広がりました。また、新しく開発されてきたあすと長町地区からも参加があり、新旧住民の方々の交流にも役立つことができました。

●「ガーデンサポーターⅡ 樹木のネームプレートをつくろう」

郡山中学校美術部・八本松児童館・剪定ボランティア「ガーデン八本松」の皆さんと協力しながら、市民センターの樹木に木製の名札を作成し取り付けました。

昨年取り付けした八本松公園の名札も更新し、生徒の皆さんのカラフルな色づかいで木の名前もわかりやすく、公園やセンターを利用する方々の樹木への愛着をさらに深めることにつながりました。

「あすと長町・八本松・郡山散策」のひとコマ



郡山中学校にある郡山遺跡を見学

「ガーデンサポーターⅡ 樹木のネームプレートをつくろう」

イベントカラーや顔料マジックを使い製作中



1月30日、雪が積もっているなか取り付けました

白木の名札を、公園とあわせて40枚つけました



＜八木山市民センター＞の取組み【目標3-①】

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

防災の輪を広げるコーディネート

八木山市民センターでは、地域の消防関係の各団体と東北工業大学、八木山中学校が一体となり防災に取り組む活動をコーディネートしています。

八木山中学校で1年生全員が太白消防署八木山出張所の所員や婦人防火クラブ連絡協議会八木山支部の皆さん、東北工業大学の学生から「幼児向け防災カードゲーム「ぼうさいダック」」やオリジナルの「ぼうさいダンス」を学び、幼児に教えるという視点で指導の模擬体験する講座を6月30日に行いました。

その後、中学生たちは、地域の防災イベント等でボランティアとして活動し、大学生や消防関係者と一緒に講座で学んだ「ぼうさいダック」や「ぼうさいダンス」を披露・指導しました。

中学生がゲームやダンスを通じて防災について学び、地域防災への関心を高めるとともに、大学生や消防関係者と一緒に地域行事への参加することで、地域の活性化や世代間交流の促進にもつながりました。



6月30日の講座では中学生がグループに分かれて指導の体験をし、真剣に学びました。



11月3日は八木山ベニーランドで「第10回秋の八木山フェスタ」をぼうさいダンスで盛り上げ、12月12日開催の「地域防災シンポジウム in 八木山」ではオープニングを飾りました。地域のオリジナルキャラクター「防災仮面」も誕生し、盛り上がりを見せています。防災学習マスコットキャラクターひとまち ぼうたくんも一緒に踊りました。

【平成27年度の活動の様子】

8月23日に勾当台公園を会場に行われた「せんだい防災の広場」でぼうさいダンスのパフォーマンス披露



10月24日八木山地域防災訓練にて小学生低学年にダンスの指導をしました。



＜山田市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

これまでの山田鉤取地域総合防災訓練は、山田中学校と上野山小学校が別々に実施していましたが、平成27年度は、同日同時刻の発災を想定し、同時に訓練を行いました。そのため、居住する地域によっては、小学生が中学校に避難したり、或いはその逆であったりするため、PTA及び子ども会の力が大変重要となりました。

これまでも、町内会や社協、民児協、体振、日赤などの各種団体と学校、市役所・区役所、市民センターと連携して行ってきましたが、新たにPTAや子ども会と連携したことにより、いっつき避難場所の確認や子ども会の班長と子どもの人数などを把握でき、とても有意義な訓練となりました。



指定避難所・山田中学校

小中学生と地域の方が一斉に避難すると、体育館だけでは手狭になることが実感でき、武道館や教室の開放を早い段階で判断しなければならないことが分かりました。

指定避難所・上野山小学校

小学校に隣接する自然体験学習林「楽元の森」を活用して様々な訓練を行いました。この森は、非常時には避難場所として活用できることが分かりました。



＜茂庭台市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

第26回 茂庭台地区市民文化祭

茂庭台地区市民文化祭は、茂庭台小学校、茂庭台中学校、各福祉施設、地域で活動するサークルなどの発表と地域の皆さんの交流の場となっています。今年度は、茂庭台地区市民文化祭実行委員会でより多くの団体に参加して欲しいと声が上がりました。実行委員の皆さんや市民センターが幅広く声掛けしたところ、多数の新規申込を受け、小・中学校からはこれまで以上に参加があり、大いに盛り上がりました。

市民文化祭後は、地域の方がサークルに加わったり、ボランティア活動に取り組んだ中学生が自らジュニアリーダーに加入するなど、地域活性化に繋がりました。



茂庭台小学校からは、4年生有志によるすずめ踊りと6年生有志による茂庭台ソーラン。同時参加は今回初。元気な舞台を披露してくれました。



茂庭台中学校からは、初参加となる弁論発表と英語暗唱。オープニングは吹奏楽部が熱演しました。昨年同様、ステージ司会やポスター制作も担当してくれました。



新規参加の皆さん。まだご紹介しきれないほどご参加いただきました。

＜東中田市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

東中田市民センター主催事業から立ち上がった語り手ボランティア「かにかっこ語りの会」が仙台市立四郎丸小学校の総合学習に今年度も関わり、小学生がかにかっこ語りの会から学んだことに自分たちが調べたことを加えて、学習発表会につなげてくれました。

また、市民センターを会場に開催した「明日へ伝えよう わたしたちの四郎丸」では学習発表会の発表をいかして広く地域の方々へ伝えることで、世代を超えて地域への愛着を増す機会となりました。

関わりを深めていくなかで、子どもたちは地域への関心も高まり、地域全体で子どもの健やかな成長を見守るなど広がりを見せています。



四郎丸小学校3年生総合学習「地域のよさを見つけよう」



市民センターでおこなわれた「明日へ伝えよう わたしたちの四郎丸」

＜柳生市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

地域の団体と協力して、さまざまな講座を開催しました。

● 『認知症を知ろう～認知症と上手につきあうために～』（全3回）

6月に「西中田地域包括支援センター」、太白区障害高齢課、太白区家庭健康課との共催で開催しました。

認知症とはどんな病気か、どのように対応したらよいかなどを学びました。「寸劇では、認知症の症状やその対応のしかたをわかりやすく演じてくれて、笑いもあり、楽しく学ぶことができました。」「手拭い1本で遊びながらできる運動は参考になりました。」などの感想がよせられました。

● 『ふれあい結いの輪』（全4回）

6月から1月まで「支えあいセンターたいはく」「名取市サポートセンターどっとなとり」と開催しました。地元のハーブガーデン見学、ものづくり、料理実習、コミュニケーションマーチャンゲーム大会を通して地域のみなさんの交流が深まりました。

● 『東北復興応援ツアー 和★ROCK』

3月に、「NPO 法人キャットミント」「名取市サポートセンターどっとなとり」「広島ケナフの会」「広瀬川倶楽部」「ゆめ工房」そしてたくさんの地域ボランティアがつながり開催しました。

震災をふりかえり、防災への認識をあらたにしました。広島県呉市の中学生をはじめとした和太鼓や琴などの演奏も披露され、交流もひろがりました。

これからも、このような講座を、地域の方々や団体のみなさまと協力して行い、地域づくりに貢献できるお手伝いをさせていただきたいと考えております。



『認知症を知ろう
～認知症と上手に
つきあうために』第1回



『ふれあい結いの輪』
第1回



『東北復興応援ツアー
和★ROCK』

＜秋保市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

東日本大震災を教訓に、地震などの災害に対する防災意識の向上と生命の安全確保を目的として、実践的な講座を実施しました。

実施時期は平成27年6月21日9:00～12:00で実施場所は、秋保中学校体育館並びに校庭、秋保市民センター並びに駐車場で、参加団体は秋保中学校指定避難所開設を担当している並木町内会、大原町内会、野中町内会を中心とした地域住民と秋保中学校で総勢約250人が参加しました。

炊き出し訓練は、本センターの調理実習室で実施し、ご飯を作り、パック詰を行いました。簡易トイレの組立では、地域住民と中学生が力を合わせて組み立てました。始めて組み立てる人も多く、取扱説明書を解読するのに時間を費やしたところもありました。けが人の応急処置の講習も開催され、毛布を使用しての搬送や、ラップを使用しての止血方法などを学びました。

今年度は、秋保中学校の生徒が全員参加し、地域住民と協力しながら訓練を受けたことでより地域の防災・減災意識が高まる機会となりました。



けが人の応急処置

包帯の巻き方について、消防署の方が指導してくれました。



簡易トイレの組立

取扱説明書を見て、部品と手順を確認しているところです。

＜富沢市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

今年度、富沢市民センターでは、様々な団体と連携し、事業を展開しました。

◆富沢・長町中学校区の6小学校（富沢・大野田・西多賀・長町南・鹿野・長町）と2中学校（富沢・長町）の各「父親の会」が集まり、市民センターで会議をしながら「富沢長町おやじの会地域ネットワーク推進委員会」を結成、市民センターと共催・連携しながらスポーツ交流会を開催しました。

◆富沢地区のみなし仮設にお住いの被災者の方々の支援事業を実施するために、富沢地区町内会連合会とささえ合いセンター（たいはく）・西多賀第二地区民生委員児童委員協議会との連絡調整を行い、地域のJA 仙台青年部とも協力し、事業を実施しました。

◆富沢地域の子育てを支援するために、太白区家庭健康課と富沢児童館・大野田児童館・主任児童委員・子育て支援クラブ等と情報交換会を行い、連携して「つながる子育てホッとinとみざわ」を開催しました。

◆大野田小3年を対象に、総合学習の時間で「キャップハンディ体験」「高齢者疑似体験」「赤ちゃん抱っこ体験」などを実施する際、太白区社会福祉協議会や宮城県立視覚支援学校教諭、東北運輸局等の各種団体と学校とのコーディネート役を果たしながら、子どもたちの学習を支援しました。



スポーツ交流会の様子



地域交流会の様子



「つながる子育てホッとinとみざわ」の様子



大野田小学校連携事業「人にやさしいまちってなあに？」の様子

